

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つみき第7		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・公文式の教材を活用した学習支援(学校の宿題のフォローを含む)を活動プログラムの中に取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間管理や場面転換(特に登所後の休憩～学習)の際の気持ちの切り替えを目的として、タイマーを活用。 ・自学自習に向けた学習作法の習得(例:決められた挨拶を守る。糊付けされたプリントの束を一枚ずつ捲って切り離し、向きを揃えて事前準備する。成績表の各項目に記入する。蝶結びでファイルを綴じる)。 ・数表理解の補助学習として、小学校低学年を対象に、数字盤(30・50・100)を活用。 ・正しい学習姿勢を維持できるよう、高さが調整できる机と椅子を昨年に設置。 ・必要に応じて部屋を分ける等、集中しやすい学習環境を提示。 ・読書習慣の維持を目的として、希望者を対象に、公文のすいせん図書等を活用して、内容確認を含む読書クイズを実施。 ・成長(作業力や計算能力、自己肯定感の向上)を実感する機会として、算数の足す1以上の単元に進んでいる希望者を対象に、30分で何枚のプリントに取り組めるかをチャレンジする【公文マラソン】を毎夏に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習プリントの個別提供。 ・公文の研修動画の活用。
2	・設定活動を選択できる環境を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思を言葉で伝えられる利用者が多く、年齢や好みもそれぞれ異なる為、設定活動を選択出来るように配慮している(例:工作 or おやつ作り、公園遊び or 買い物、UNOやトランプ等のカードゲーム or Switchの多人数プレイゲーム、等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定活動以外の自由時間の過ごし方の充実を図っていく。(遊びの提案等)
3	・公共交通機関を使った外出活動に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎車がない環境上、学校の休業期間等は、電車やバス等の公共交通機関を使った外出活動を設定。又、近隣の(商業)施設(例:マクドナルド王子店、ジョーシン王子店、東十条銀座、十条台の中央図書館)や駅(例:王子駅、東十条駅)に行く際は、片道20～40分程かけて歩いて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各人の体力面も考慮しながら、外出活動を設定(今年度の遠出は、葛西の地下鉄博物館、東京タワー、等)。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への情報周知が不十分。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主通所をしている利用者が11/35名おり、お迎えに来る保護者に直接の引継ぎが出来る場合とでは、情報の伝わり具合に差が出やすいと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な連絡を取るようになる。

2	<p>・特に小学校低学年の利用者を中心に、学習を終えた後～おやつまでの自由時間が長くなりやすい。</p>	<p>・利用者の通学先（王一小、豊川小、王子小、滝二小、滝五小、堀船小、東十条小、王特、明桜中、王子桜中、志村学園）や下校（登所）時間がバラバラな為、職員が学習支援の方に付いたり、少人数が揃うまで設定活動の開始を遅らせる（待たせる）等の状況が起きやすい。</p>	<p>・職員配置や活動の流れの工夫を行っていく。</p>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つみき第7

公表日 2025年3月19日

利用児童数 35

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1			・できれば少しだけ広いと、定員に対して良いなあと思います。	・机や椅子を端に寄せて、身体を動かしたり(例:ゴロゴロドッジボール)、プラレールを広げられるスペース等を確保している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	5		1	・トイレが暗いので明るい空間にして頂けたらと思います。前テナントの雰囲気や看板が残っているので撤去していただきたいです。	・(特に立ち便器がある)男子トイレの方で怖がるケースがこれまでもあり、壁面に装飾物を貼ったり、利用児が「一緒に来て」と希望する際に立ち会う等、配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		1	7		・王子東児童館では工作活動に参加。近隣の公園では、一般児童と一緒に鬼ごっこで遊んだり、交流する機会が何度かあり。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11				2	・(令和7年度)5/13に保護者講習会を行う予定。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				2	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7				6	・保護者会を11/20に開催、6名が参加。きょうだいで利用は3組あり(兄・弟/兄・弟・弟/姉・弟)、令和7年度は2人増えて、計5組となる予定。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				4	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			4	・何日かに分けて地震想定避難訓練を11月に実施（主に小学生を対象）。次回は3月に予定。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12			1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	つみき第7				公表日	2025年 3月 19日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・活動に必要な時は長机を出す等、スペース確保に置いて工夫している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・予定表の作成をローテーションで変えることで様々な活動を検討している。			

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・都度、何かあれば振り返りをしている。 ・退勤時間の関係で参加できていないが、次の日に振り返りや確認をするよう心がけている。 ・時間が取れない際には、別日に共有を行う等、工夫している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・法人内の児童発達支援事業所とはできているが、その他はできていない。 ・保育園や幼稚園、認定こども園との連携は十分できていない。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	・就職してから学校卒業の利用児を見ていない為、分からない。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・今後行う予定。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			